

岡山県生涯学習センター機能強化基本計画等検討委員会

第 2 回 会 議 次 第

日時：平成23年6月1日（水）

14：40～16：00

場所：ライフパーク倉敷

（倉敷科学センター）

1 開 会

2 議 事

- （1）未来科学棟（仮称）の基本的な役割について
- （2）未来科学棟（仮称）の基本的な機能について
- （3）未来科学棟（仮称）の基本的な運営方針・管理方針について
- （4）その他

3 閉 会

目 次

○検討委員会（第1回）の主な意見	・・・ 1
○未来科学棟（仮称）の基本的な役割	・・・ 2
○基本的な機能	・・・ 3～6
○基本的な運営方針・管理方針	・・・ 7
・関係資料	
参考資料	
他館資料	

岡山県生涯学習センター機能強化基本計画等検討委員会（第1回）の主な意見

【基本的な役割・機能】

- ・県施設として、広域性に加え、市町村等を牽引する先見性が必要である。
- ・県施設として、社会の変化に対応する県内科学の知能部・司令塔になるとよい。
- ・展示が中心の倉敷科学センターとの明確な差別化を図るべき。
- ・施設の規模からも科学の分野を絞り込む必要があり、岡山県の特長、強みと結びつけることが重要。
- ・岡山の誇る「ものづくり」や「技術」にも力を入れてはどうか。
- ・新学習指導要領も踏まえ、学校では行いにくい、より高度な実験が体験できる施設になるとよい。
- ・子どもたちにとって、大変わくわくさせられる楽しいスペースになっていけばよい。
- ・リピーター確保のためにも、時期によって新しい体験ができるようプログラムを工夫するとよい。
- ・プラネタリウムは、光学式とデジタル式の併用になるとよい。

【ネットワークの構築】

- ・人的なリソース（資源）を集約する形のものにするとよい。
- ・周辺の大学等との相互連携により高度な科学実験も提供できるのではないか。
- ・企画展示スペースは、専門科を有する高校の課題研究の発表の場として利用できるのではないか。
- ・専門機関や大学との連携により岡山独自のプラネタリウム運営も可能ではないか。
- ・京山周辺の施設の取組との連携強化を図ることが必要。
- ・旧県立児童会館の積み重ねてきたネットワークの実績も生かしてはどうか。

【管理運営体制、利用促進策など】

- ・科学に関する専門的な人材の配置についても、しっかりと検討することが必要。
- ・ネットワークづくりには高い能力を持ったコーディネーターの配置が不可欠。
- ・コーディネーターをバックアップする県の体制づくりが重要。
- ・県生涯学習センターの一部として機能するのであれば、県が責任をしっかりと果たさなければならない。
- ・施設の運営には経営感覚を持って当たり、単なるハード整備にならないよう、しっかりとソフト事業とともに、利用促進策を検討する必要がある。

未来科学棟（仮称）の基本的な役割
（第1回検討委員会における指摘等を踏まえた姿）

○理 念

未来につながる科学の学び・体験・交流の発信拠点

- 科学を通じた知の発信
- 親・子の学びの発信
- 世代を超えたつながりの発信



○目 的（目指す科学館像）

・「連携・協働型科学館」としての未来科学棟（仮称）

展示物に頼るのではなく、企業、大学、研究機関、総合教育センター等、岡山の科学に関する「知」（人材、コンテンツ等）を結集し、相互に発信することで、科学の学び・体験・交流事業を積極的に展開する「連携・協働型科学館」を目指すこととし、大きく2つの推進方向を定め、事業を推進する。

【方向性1】学校教育との連携による創造性豊かな人材の育成

【方向性2】幅広い世代の体験・交流を生み出す場の提供



○事業・コンテンツのテーマ

施設規模を踏まえ、以下の3つのテーマに重点化。

いずれも岡山の大学、企業、NPO等と連携・協働し、「岡山の地域特性」を生かした事業・コンテンツを提供する。（別紙参照）

①地球・宇宙と科学 ～地球や宇宙科学に関する映像・プラネタリウム～

研究機関、大学等の連携・協働によるプラネタリウム、全天周映像等

②地域資源と科学 ～岡山の科学的資産を活用したものづくり技術や科学～

企業、大学等の連携・協働による展示体験、施設見学等

③暮らし・環境と科学 ～岡山の自然や身近な題材による科学～

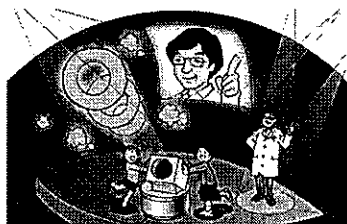
周辺施設やNPO、ボランティア等との連携・協働による科学の実験教室、ワークショップ等

基本的な機能（事業・コンテンツ別）

「岡山の地域特性」を活かした

①地球・宇宙と科学 ～ 地球や宇宙科学に関する映像・プラネタリウム

【2階；サイエンスドーム】

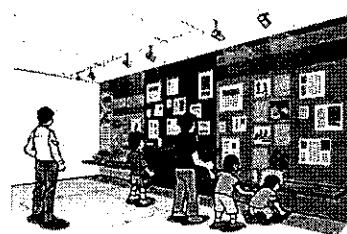


プラネタリウム及び、科学や地球環境を題材とした全天周映像を上映し、宇宙の神秘や美しさや壮大さ、科学の大きな可能性や楽しさを伝える。

また、ステージを設置し、プラネタリウム・全天周映像と公演等を組み合わせたプログラムの実施等、多様な学びの場とする。

天体研究機関や大学等と連携し、映像等のコンテンツの作成やインターネット中継による天文学習等を行うとともに、遠い昔の岡山の夜空をプラネタリウムで提供するなど、岡山の地域特性を生かした在り方について検討を行う。

【2階；ウォールギャラリー】



サイエンスドームの周囲を利用し、宇宙をテーマとした回遊性のあるパネル展示を整備する。宇宙との関連やストーリー性を重視したレイアウト・企画を検討するとともに、小・中・高校生などが取り組んだ科学に関する学習成果を発表するギャラリーとしても活用する。

また、これまで稼働していたプラネタリウム投影機の展示保存も検討する。

【2階；サイエンスステーション】



子どもから大人までが楽しみ、科学に関する学習ができるよう、科学関連の書籍や他の科学館の情報、JSTのサイエンスチャンネルの映像等を整備した科学に関する情報ステーションを設置する。

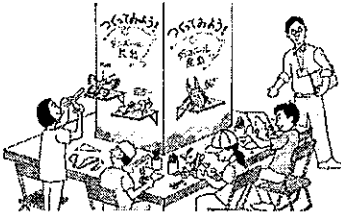
なお、設置に際しては、交流棟の図書コーナーやAVコーナーなどとのトータル的な整備の在り方を検討する。

【太陽の丘（児童遊園）】

地層断面や岩石の標本を展示するなど地球（地学）分野を学ぶ空間として活用する。また、屋外が適した科学実験や屋内で作ったものを屋外で使うなど、未来科学棟（仮称）との一体的な利用を想定した科学の学び・遊びの空間として活用する。

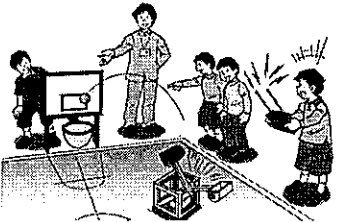
②地域資源と科学 ～ 岡山の科学的資産を活用したものづくり技術や科学

【2階；企画展示室】



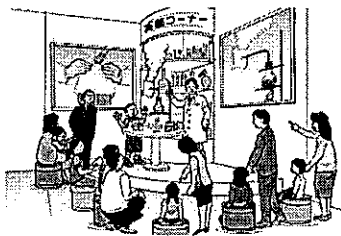
先端科学技術、ものづくり分野について、企業、大学、高校等との連携による企画展や巡回展を開催し、地域の科学技術や産業等について学ぶとともに、展示装置を自分で触ったり試したりできる参加・体験型の空間として活用する。

また、時期により展示内容を入れ替えて運営していくなど、県内の優れた科学技術や産業等を幅広く紹介する工夫を検討する。



③暮らし・環境と科学 ～ 岡山の自然や身近な題材による科学

【1階；科学体験・交流広場】



専門家等による実験ステージでのデモンストレーションやサイエンスショーを通じ、子どもたちが楽しみながら科学の奥深さを体験することにより、科学に関する理解を深め、想像力や感性を高める場とする。

体験スペースは、子どもたちが直接科学に触れあう場として、NPOや大学等の協力により、ものづくり・実験教室やワークショップなどのプログラムを提供する。

大きなスペースを確保することで、学校の理科学習にも対応可能な空間とし、新学習指導要領を踏まえたプログラムや動機付けとなるプログラム（通常の学校教育ではできない実験等）の提供を検討する。

また、プラネタリウムや太陽の丘との一体的利用や、周辺施設と連携した周遊型の学習プログラムの提供を検討することにより、学校の遠足や社会科見学のお機曾等での活用を促進する。

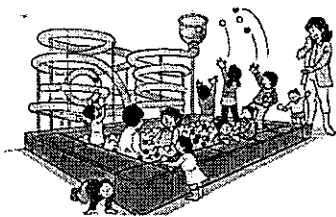
【1階；エントランスエリア】



科学体験・交流広場への導入口として、子どもたちの好奇心を喚起するような体験展示を整備したエントランスエリアとする。

- 例) ・シミュレーター型体験装置
- ・インタラクティブ型体験装置
- ・サイエンスアート 等

【1階；親子サイエンスルーム】

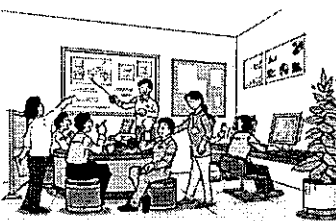


就学前の子どもや親がいつでも気軽に訪れ、親子で科学を学び、遊ぶことができる空間としての活用を検討する。

- 例) ・物理の法則を応用したボールコースター
- ・地球ゴマやバランスボール等の科学玩具

④ネットワークの推進エンジン

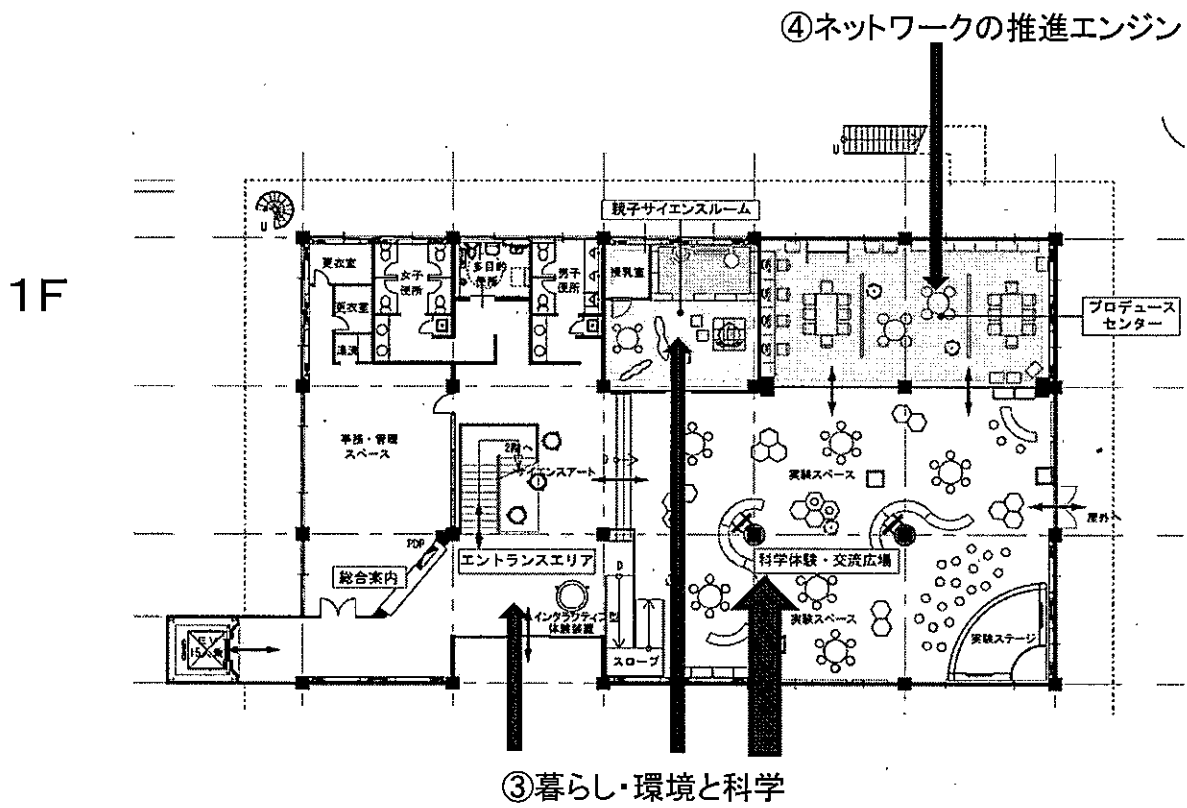
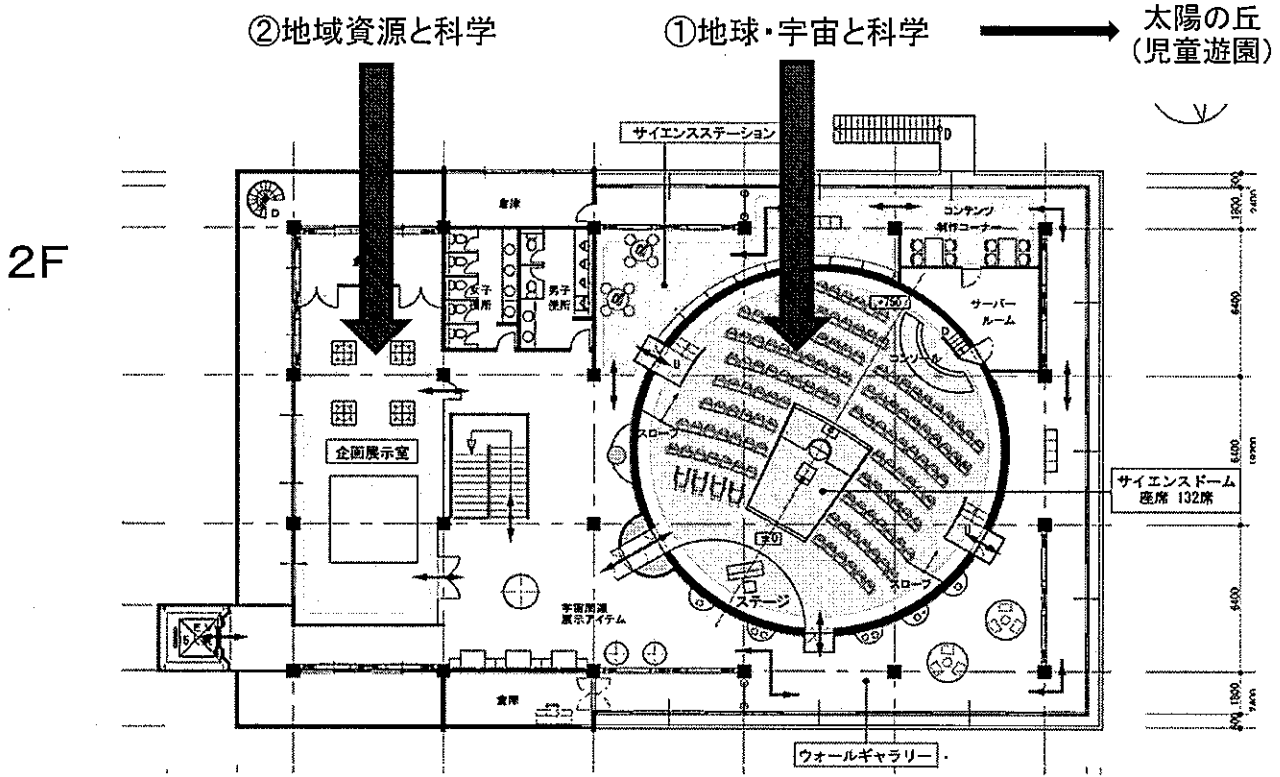
【1階；プロデュースセンター】



産学官民がネットワークを構築し、連携・協働する活動拠点となるスペースとし、団体相互のネットワーク形成、指導者の参加型学習・交流の場、展示・プログラム開発の拠点として機能させるとともに、ボランティアの活動拠点として活用する。

各々の空間は、相互に連携させていくこととし、例えば時期によってはテーマを統一し、企画展示室や1階の科学体験・交流広場も宇宙科学について学習し体験できる場としたり、相互に関連づけたプログラムを提供するなど、柔軟な利用も可能とする。

レイアウト(基本的な機能)



③暮らし・環境と科学

基本的な運営方針

平日は、主に小中学生等を対象に学校教育と連携したプログラム、休日や夏休み等は、幅広い世代が科学を学ぶ（生涯学習）ことができるプログラムを提供する。

【平日】

プラネタリウムや科学実験など未来科学棟（仮称）や周辺施設の特長を生かし、学校と連携しながら、センター職員（教員or教員OB）等による小中学生を対象とした理科学習（主に地球分野）に関連したプログラムを提供するとともに、学校利用のない時間帯は、一般の利用を想定したプログラム等の検討を行う。

【休日・夏休み等】

企業、大学、NPO等との協働による科学の実験教室や、平日とは違った内容の全天周映像の上映等、幅広い世代を対象とした科学の学びの場としてのプログラムを提供する。特に、夏休みには、観望会など平日には実施しにくいプログラム等の検討を行う。

基本的な管理方針

未来科学棟（仮称）は、基本的に生涯学習センターとの一体的な管理運営を行うが、産学官民のソフトパワーの結集・活用による学び・体験・交流のコンテンツの充実や県内全体の情報発信を実現するため、県内の関係機関・団体等のネットワークによる官民の連携・協働による役割分担を検討する必要がある。特に、サイエンスドームに求められる役割と機能を果たしていくためには、専門性を有した人材の配置に配慮する必要がある。

管理運営体制（案）

具体的な業務	NPO、企業、ボランティア等の関与
総合企画・調整、展示事業 体験・実験・イベント事業 プラネタリウム事業 講座開設、調査・研究 普及・啓発・広報、来館者サービス ボランティア育成・支援	・県施設としての広域性の確保、学校教育との連携などの観点から、県が主体となって管理運営（総合プロデュース）を担うことが求められる。 ・NPO、企業、大学、ボランティア等のリソースを結集し、企画立案を行う「プロデュースセンター」を組織化して、県との連携・協働による運営を行う。
施設・設備の保守、点検 清掃、警備 施設の予約管理、利用料金の収受	・現在の県生涯学習センターとの一体的な管理運営も勘案し、指定管理者を検討する。

<類似施設の例>

- 群馬県生涯学習センター・・・当センター内にプラネタリウムを有する少年科学館を併設
- 施設の運営は県直営
 - 施設の維持管理は外部委託
 - プラネタリウムに係る機器等の管理や投影番組製作は外部委託

岡山県生涯学習センター機能強化基本計画等検討委員会

第 2 回 会 議

参 考 資 料

参 考 資 料 目 次

科学館の4つのパターン	・・・	1、2
未来科学棟（仮称）における事業実施に当たって想定される 連携先（ネットワークリスト）の例 他	・・・	3～6

科学館の4つのパターン

①ワークショップ形の科学体験＋プラネタリウムを備える施設

施設名	とよた科学体験館（豊田市）
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ■プラネタリウム ■サイエンスホール：遊びと創造のギャラリー： チャレンジテーブル、錯覚の壁、立体めがね、勝手にうごく手、勝手におもう手、ふしぎな鏡、アニメーションのしくみ、無限の世界、キッズサミット、電腦生物を創ろう、モノづくりギャラリー、豊田市とモノづくり ■サイエンスホール：パフォーマンスステージ： ジャンプの壁、タッチの壁、実験のタワー、ループダッシュ ■サイエンスホール：ワークショップラボ： 真空モジュール、送風モジュール、ホバークラフト、ワークショップルーム
特色	<ul style="list-style-type: none"> ・大小様々なワークショップを数多く展開するワークショップ型の科学体験学習施設。 ・更新が容易なグラフィック展示、家に帰ってから続きを楽しめる PC コンテンツ、展示に関連する話題を閲覧できる電子書籍端末など充実。
取組み例	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週土日及び学校の長期休暇には日に2回のミニワークショップを開催。 ・各種実験機器や実験モジュール等を使った実験体験やその科学原理を応用した様々な工作を行うワークショップを年 12 回程度実施。

②学校連携機能を重視している科学体験学習施設

施設名	出雲科学館（出雲市）
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">■情報ステーション <li style="width: 50%;">■実習室 <li style="width: 50%;">■デジタルプラネタリウム <li style="width: 50%;">■実験室 <li style="width: 50%;">■創作工房 <li style="width: 50%;">■展示体験プラザ <li style="width: 50%;">■21世紀科学の先端情報コーナー <li style="width: 50%;">■みんなの家 <li style="width: 50%;">■多目的室 <li style="width: 50%;">■サイエンスホール
特色	<ul style="list-style-type: none"> ・学校との連携を重視。市内小中学校の児童・生徒が最新鋭で高性能の装置、機器、材料を使って平日に理科学習を行う。 ・土日祝日を中心に子どもから一般を対象に科学・ものづくりに関するさまざまな生涯学習を展開。 ・年間計画に基づく体系的な理科学習(学校教育)と生涯学習(社会教育)の機能を合わせ持つ施設。
取組み例	<ul style="list-style-type: none"> ・土日・祝日を中心に、申し込みをしなくても科学実験やものづくりが無料で体験できる「チャレンジ教室」を開催。 ・子ども会や PTA の活動として「地域団体ががく教室」、年間を通して様々な活動をする「出雲少年少女発明クラブ」など、地域の科学学習を支援。 ・市内の小中学校を対象に、理科学習用の教材の貸し出しを実施。

③展示による遊び・学び機能＋プラネタリウムを備える施設

施設名	倉敷科学センター（倉敷市）
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ■プラネタリウム ■シンボルゾーン: アルキメデスのポンプ、望遠鏡のしくみ、ジェームズ・ワットの蒸気機関、動きや力を伝える機械、H-IIロケットエンジン(LE-7) ■科学のプロムナード: 静電気を作ろう、まさつのない机、雲のリング・ジャイロで遊ぼう、鏡の中の迷路車をもちあげよう ■あそびの広場
特色	<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年のリニューアルで、老朽化した展示物を中心に全体の3分の2を更新し、室内空間の色彩やデザインを一新。 ・従来の「参加・体験型」をさらに発展させた展示を導入。
取組み例	<ul style="list-style-type: none"> ・科学原理を中心とした参加体験型展示 ・科学展示室での実演 ・サイエンスショー

④大学・企業などとの連携事業が充実している科学体験学習施設

施設名	多摩六都科学館（西東京市）
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">■サイエンスエッグ(プラネタリウム) <li style="width: 50%;">■科学学習室 <li style="width: 50%;">■実験ショーコーナー <li style="width: 50%;">■展示室 (宇宙の科学、生命の科学、生活の科学、地域の科学、地球の科学) <li style="width: 50%;">■化石展示 <li style="width: 50%;">■イベントホール <li style="width: 50%;">■図書コーナー <li style="width: 50%;">■カフェテリア <li style="width: 50%;">■休憩室、授乳室 <li style="width: 50%;">■ミュージアムショップ
特色	<ul style="list-style-type: none"> ・5つの展示室、世界最大級の大きさを誇る直径 27.5メートルの傾斜型ドーム(プラネタリウムと全天周映画)、科学学習室及び屋外展示物からなる、参加体験型の科学館。 ・大学・企業・NPO・ボランティア等の多様な主体と連携した活動を展開。
取組み例	<ul style="list-style-type: none"> ・大学と連携した実験教室やロボット工作教室等の合同企画を実施。 ・学校への出張授業、出前講座等を実施。職場体験活動を受け入れ。 ・企業による体験教室や出前講座を受け入れ。 ・科学館と離れた地域に住む方を対象に、講演会やサイエンスショーを実施するサイエンスキャラバンを展開。

未来科学棟(仮称)における事業実施に当たって想定される連携先(ネットワークリスト)の例

カテゴリー	団体名	事業・コンテンツ等の例	体験・交流	企画展示	ドーム
大学	○大学コンソーシアム岡山(事務局:岡山商科大学)		○	○	
	○科学Tryアングル岡山(事務局:岡山大学)	科学大好き岡山クラブ(子ども・県民対象)、わくわく理科講座(教員対象)	○	○	○
	岡山大学	CST、未来の科学者養成講座	○	○	○
	岡山理科大学	科学ボランティアセンター	○	○	○
	ノートルダム清心女子大学	プラネタリウムコンサート	○		
	中国学園大学・中国短期大学	学生ボランティア	○		
	倉敷芸術科学大学	撮影・画像加工(メディア映像学科)	○		○
	岡山県立大学	撮影・画像加工(造形デザイン学科)	○		○
高専	津山工業高等専門学校	ロボットづくり、天体観測会	○	○	○
専門学校	○岡山県専修学校各種学校振興会				
	岡山科学技術専門学校	映像音響、ものづくり、バイオサイエンス	○	○	○
高校	○岡山県高等学校長協会(事務局:岡山朝日高)				
	○岡山県高等学校教育研究会	研究発表、教員研修	○		
	○岡山県高等学校工業教育協会(事務局:岡山工業高)	ものづくり	○	○	
	SSH指定校 (岡山一宮、倉敷天城、玉島、清心、金光学園)	研究発表、実験教室	○	○	
	ユネスコスクール(小中学校を含む。)	取組発表		○	
研究機関	国立天文台岡山天体物理観測所	観望会、プラネタリウム運営における連携		○	○
	産業技術総合研究所	先端科学技術の紹介		○	
	岡山光量子科学研究所	先端科学技術の紹介、出前講座		○	
経済団体	○岡山県経済団体連絡協議会			○	
	○岡山県中小企業団体中央会			○	
	○岡山県商工会議所連合会			○	
	○岡山県経営者協会			○	
	○岡山経済同友会			○	
	○岡山県商工会連合会			○	
企業	○協働組合ウイングバレイ	教員研修、ものづくり(自動車関連)	○	○	
	○ウイングウイン岡山	ものづくり(航空機関連)	○	○	
	ナカシマプロペラ(株)、ナカシマメディカル(株)	ものづくり(船舶、医療関連)	○	○	
	両備ホールディングス(株)	集光型太陽光発電	○	○	
	(株)岡山村田製作所	ものづくり(ロボット)	○	○	
	中国電力(株)	エネルギー教室出前講座	○	○	
	西日本三菱自動車販売(株)	電気自動車体験	○	○	
	(株)ベネッセコーポレーション	教材を用いた体験・実験	○	○	
	(株)山田養蜂場	みつばち教室出前講座	○	○	
	明和製紙原料(株)	古紙リサイクル出前講座	○	○	
	(株)戸田レーシング	ものづくり(レース用自動車関連)	○	○	

カテゴリー	団体名	事業・コンテンツ等の例	体験・交流	企画展示	ドーム
周辺施設	(株)池田動物園	動物との触れ合い体験	○	○	
	京山ソーラー・グリーン・パーク	集光型太陽光発電	○	○	
	京山公民館	ESD	○		
	つしま弥生広場(国指定史跡津島遺跡)	勾玉づくり、火起こし体験	○		
	県立鳥城高校	社会貢献活動、施設利用	○		
	県立岡山工業高等学校	小中学校等地域連携	○		
NPO	財団法人おかやま環境ネットワーク	環境講座、エコファミリー講座	○	○	
	NPO法人自然体験活動支援センター	植物観察(太陽の丘)	○	○	
	岡山県淡水魚協会	ミニ水族館、魚に触れる体験	○	○	
	認定NPO法人おかやまエネルギーの未来を考える会	ソーラークッキング	○	○	
ボランティア	ぱるボランティア	施設ボランティア	○	○	
	学生ボランティア(大学・短大、高校)	実習として位置付け	○	○	
	退職教員	理科支援員、コーディネーター	○	○	
その他団体	(財)岡山県産業振興財団	科学関連事業との連携(おもしろ体験でえ〜)	○	○	
	(財)岡山県環境保全事業団	出前講座(環境学習センターアスエコ)	○	○	
	(独)科学技術振興機構(JST)	科学者による講演、サイエンスチャンネル		○	○
	(独)宇宙航空研究開発機構(JAXA)	宇宙飛行士による講演、宇宙関連展示、映像ソフト		○	○
	科学振興仁科財団	講演、展示	○	○	
	岡山市少年少女発明クラブ	作品展示、デモンストレーション	○	○	
	岡山天文同好会「岡山アストロクラブ」	観望会、写真展示		○	○
県内科学館等	倉敷科学センター	スタンプラリー		○	○
	岡山天文博物館	スタンプラリー		○	○
	倉敷市立自然史博物館	動植物関連出前講座	○	○	
	アトムサイエンス館	原子力関連出前講座	○	○	
	岡山県環境保健センター	環境学習出前講座、移動環境学習車	○	○	
	岡山県自然保護センター	自然保護関連出前講座	○	○	
	つやま自然のふしぎ館(津山科学教育博物館)	動植物関連出前講座	○	○	

○は、団体の共同体

周辺施設については、遠足、社会科見学等で利用できる周遊プログラムを検討

事業・コンテンツ等の例は、各団体と調整したものではない。

3. 施設共用開始(平成25年度予定)後の事業計画について (2)企業、大学・高校等、関係機関、NPO等との共同事業

③ 連携が考えられる関係機関の例 (1/2)

基本計画業務の中で、県内の関係団体にアンケート、ヒアリング等を実施し、事業参画の可能性を探ります。

	団体名	取組内容
企業		
1	アサヒ飲料株式会社	児童会館にて、「三ツ矢サイダー夏休みエコイベント」を開催。ペットボトルでエコ体験等を通じて、森と水の秘密を探るプログラム。
2	水島エコワークス株式会社	「サーモセレクト方式」のガス化溶融処理システムにより産業廃棄物の再資源化を行う。一般見学受入。
3	旭電業株式会社	自社HP内で、地震や気象等、地球の科学に関する情報を提供。
4	中国電力株式会社 岡山支社	電化キッチン体験、小学校高学年～中学生を対象としたエネルギー教室(出前講座:電気のしくみ、新エネルギー等)、発電所見学受入実施。
5	岡山ガス株式会社	ショールーム「アスパラガス」で料理教室やガスコンロとIHクッキングヒーターの比較調理体験等を実施。
6	山田養蜂場	ミツバチの生態観察、細蜜体験、ミツロウ工作等を行う「エコスクール」と、ミツバチの生態や知恵を通して自然環境の大切さを伝える出前講座「みつばち教室」を実施。
7	明和製紙原料株式会社	企業や学校、各種団体を対象に、リサイクルシステム構築についてのサポートやリサイクル授業等「古紙リサイクル出張授業」を年間約100回実施。
大学・高校等		
8	岡山大学 科学大好き岡山クラブ	小・中・高生を対象に、通常の学校教育では味わえない実験や学習の機会を提供する。蛍光現象の実験・講義、分子・原子が作る色の世界、火星・金星の軌道を見つける、スピーカーを作る、他。
9	岡山大学大学院 自然科学研究科 科学先取り岡山コース	物理学、化学、生物学、数学分野に高い意欲を持つ小学生・中学生・高校生を選抜し、能力向上の支援を行う。科学大好き岡山クラブからの選抜もある。
10	岡山大学 児童文化部 つくしんぼグループ	児童会館にて、「つくしんぼなかよし劇場」開催。人形劇や、音に合わせて人形が動くボードビルを扱った公演を実施。
11	岡山大学 児童文化部 紙ひこうきグループ	こども会等からの依頼に応じ、絵本、紙芝居、スライドアニメを扱った公演を実施。
12	岡山大学 児童文化部 GUNGUNグループ	こども会等からの依頼に応じ、影絵劇、ゲーム、うた等を扱った公演を実施。
13	岡山大学 児童文化部 表グループ	こども会等からの依頼に応じ、屋内・屋外での集団で遊ぶ公演を実施。
14	岡山理科大学 科学ボランティアセンター	大学生による科学ボランティア活動。牛乳パックカメラ作り、紙ブーメランを飛ばそう、化石レプリカを作ろう、空気砲実験、他。
15	岡山理科大学 実験サークルのっばら	児童会館にて、「ドキドキさいえんす！」を開催。やじろべえや起き上がりこぼしを使って、おもりの性質を知るプログラム。その他テーマ:静電気くらげ、ベルヌーイで遊ぼう、浮沈子、ペーパーブリッジ、感電実験、他。
16	岡山理科大学 天文部	天文教室ボランティア実施。
17	岡山理科大学 環境教育地域支援研究会	環境教育地域支援シンポジウム主催。水環境フォーラム in 岡山「瀬戸内海の水環境」共催。岡山市の要請を受け、岡山城内堀の水質汚濁改善に取り組む。水質調査・水生昆虫の研究等を実施。 ※代表:岡山理科大学 野上教授(生物化学)
18	ノートルダム清心女子大学 ハンドベル部	児童会館にて、星空を眺めながらハンドベルの演奏が楽しめる「プラネタリウムコンサート」開催。
19	ノートルダム清心女子大学 天文部	星について子ども達に教えるボランティア活動を実施。
20	中国学園大学/中国短期大学	公開講座を実施。子どもの遊び子育て支援:ベッコウアメを作ろう、魔法の液体で遊ぼう、みんなで音楽、子育て相談、他。
21	中国学園大学 ピアノサークル	児童会館でライブを開催。演奏に合わせて一緒に歌ったり、ゲームを実施。
22	中国短期大学 保育学科	地域から集められたおもちゃや絵本のプレゼント、おもちゃの病院、室外遊び・室内遊びを実施する「ちゅうたんおもちゃ公園」実施。
23	岡山科学技術専門学校 自動車カスタマイズ部	児童会館へ星座をモチーフにした壁画を寄贈。板金塗装、車体のカスタマイズ・カスタムペイント等を専攻。
24	旭川荘厚生専門学院 児童福祉科	児童会館にて、「クリスマス会」を開催。手あそび、リズム体操、オペレッタなどを実施。
25	清心女子高等学校 生命科学コース	化学の楽しさを広めるため「手作り化粧品づくり」に取り組んだり、小学生対象の「科学教室」にボランティアとして参加。

3. 施設共用開始(平成25年度予定)後の事業計画について (2)企業、大学・高校等、関係機関、NPO等との共同事業

③ 連携が考えられる関係機関の例 (2/2)

	団体名	取組内容
26	岡山商科大学附属高等学校	児童会館にて、「日食を見よう! ~世界天文年 2009 公式イベント~」を開催。部分日食の観測や、日食で欠けた太陽の影絵、他。
27	岡山工業高校	児童会館で実施された「平成 21 年度こどもまつり」で、「岡山工業高校の科学の学校」を出展。七宝焼きやスライム作り、他。
28	岡山県立大学	学生によるこども向けイベント(アートミュージカル、手話歌、マジックショー、手遊び、工作(プラバンキーホルダー、トコト紙コップ、万華鏡作り等)他)を実施。エコキャンドルや自転車発電によるエコナイトイベント開催。 教員や学生が主催する講座や研究会開催(小学生を対象としたフォト・ワークショップ、織りワークショップ、他)。
29	津山工業高等専門学校	小中学生を対象とした公開講座を実施。作ろう・飛ばそうモデルロケット、サッカーロボットを作ろう、競技用ペーパーライダー講座、天体観測会、他。
関係機関		
30	岡山市立犬島自然の家	自然体験活動、文化体験活動等を行うことにより、市民の心身の健全な育成に寄与する社会教育施設。シーカヤック、天体観測、ストーンクラフト、海辺の散策、海釣り等の自然体験活動が楽しめる。宿泊棟あり。
31	ライフパーク倉敷科学センター	児童会館と共同で「おかやま星空スタンプラリー2010」開催。
32	岡山天文博物館	児童会館と共同で「おかやま星空スタンプラリー2010」開催。
33	美星天文台	児童会館と共同で「おかやま星空スタンプラリー2010」開催。
34	池田動物園	平成 20 年度実施の「京山祭」では、児童会館・生涯学習センターと共同で共通イベントを開催したほか、ドッグショーやゴミ箱アート等を実施。
35	岡山光量子科学研究所	高校生等を対象とした出前講座を実施。相対性理論入門(時空とブラックホール)、研究者とは、2008 年ノーベル物理学賞について、素粒子と宇宙、他。
36	財団法人 岡山県環境保全事業団 (環境学習センター アスエコ)	県民一人ひとりが環境に関心を持ち、環境の保全に対する意識を高めるため、温暖化・自然・ごみをキーワードにした環境学習出前講座を実施。
37	財団法人 おかやま環境ネットワーク	環境講座(大気とは、水の流動、土壌とは、生態系と人間活動、他)、エコファミリー講座(県内キャンプ場で1泊2日で実施。水辺教室、伐採体験・マイ箸作り、光に集まる虫たちの観察、星空ウォッチング等)、テーマ別講座(干潟教室、自然観察会、温暖化、ごみ問題、他)、ホテルフォーラム(ホテルの保護・復活・再生を目指す取り組みを実施。講演・関連団体活動報告、他)。水環境フォーラム in 岡山「瀬戸内海の水環境」共催。
38	財団法人 水島地域環境再生財団 (みずしま財団)	地域を知る、海、食・交通をキーワードにした公害・環境学習、パネル貸出、講師派遣を実施。アマモ場、海底ゴミ、水島のまちの変遷等のテーマを扱う。
39	岡山工業技術センター	企業を対象とした出前講座や、施設見学受入を実施。講座テーマは機械金属、計測制御電子、無機・高分子、繊維・産業資材、食品、他。
40	岡山県環境保健センター	水・大気・エネルギー・リサイクルの4つのテーマの出前講座を実施。環境学習教材を搭載した「移動環境学習車」の貸出を実施。リサイクル紙すき、水のごれ調べ、省エネしらべ等の学習器材の貸出を実施。施設見学も対応。
NPO		
41	認定NPO法人 おかやまエネルギーの未来を 考える会	児童会館にて、「親子でエコ体験」を開催。ソーラークッカーを使った料理体験を実施。自然エネルギー機材を搭載した車で小学校を訪問する「自然エネルギー体験キャラバン」を実施。その他、出前講座・エコツアーによって、自然エネルギーへの転換の必要性、省エネの大切さを伝える。
42	NPO法人 グリーンパートナーおかやま	瀬戸内海をテーマとした、環境保全に関するセミナーや活動を実施。枯れ松で薪割り体験、松食い虫観察、竹でコップ作り、炭焼き体験、アマモ種まき体験、アマモ生態観察、他。
43	NPO法人 エコネットワーク津山	山や水辺の環境保全活動を行う「自然体験プロジェクト」や、風呂敷の活用法、紙ごみ分別の実演、紙すき等をテーマにした講座「グリーンコンシューマー」を実施。
44	NPO法人 まちづくり推進機構岡山	まちづくり、ユニバーサルデザイン、防災、住まいと暮らし、の4つのテーマで、講座や体験、交流・ネットワークづくり等を行う。
45	NPO法人 自然体験活動支援センター	アウトドアプログラムを通じた自然体験学習を実施。自然体験教室(山ツツジ観察、水晶採取、竹ぼうき作り、他)、夏休みの長期キャンプ(四万十川・高梁川・六口島)。
46	NPO法人 岡山市子どもセンター	子どもの舞台芸術鑑賞活動・表現活動・体験等の支援。体験の支援では、身近なものを使った科学工作・科学実験や PC 分解講座等を実施。ボランティア養成講座開講。
その他		
47	桃太郎少年合唱団	児童会館でコンサート実施。
48	天文同好会 岡山アストロクラブ	児童会館にて、「プラネタリウムコラボ天体観望会」を開催。
49	OKAYAMA Tree+ing CLUB 遊木皆(ゆうぼくみん)	児童会館 太陽の丘公園にて、「親子で木登りをしよう! ツリーイング」を開催。ロープを使った木登りであるツリーイング(自然を大切にすることを育てる自然体験活動)を実施。